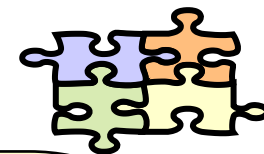


# 西駒郷での地域生活への移行は・・・



取り掛かるときに、最初に心したこと

- ①誰のための地域生活移行なのか
- ②どこで、だれと、住みたいのか
- ③どれだけ支える仲間・事業所(オール長野)体制が作れるか



県が・西駒郷が進めるのではなく、どんなに施策が優れているのでもなく、あくまで主役は本人であること

- ①移行を決めるのはわたし(本人)  
⇒アンケートではなく、個別の聴き取りを丁寧にし、移行に向けた動機付けとする
- ②わたし(本人)のニーズは意向と位置づけ、家族は希望とした
- ③もしかしたら、人生初の選択・チャレンジかも  
上手くいかないのが当たり前  
⇒失敗ではなく、経験として評価  
⇒何度だってチャレンジしていいじゃないか

# 聴く事こそ、最大の権利擁護…あなたは聴けるか

## 意思表示支援…難しいような言葉だが…

施設入所に至った経緯を知ることから始まる

- ・言いたくても聞いてもらえなかった
- ・全て全否定の中で自分の思いを言えますか？
- ・何度裏切られてきたか！
- ・今度は信じて良いのですか？

## 意思形成支援

- ・知ること・見ること・経験すること
- ・友達から話を聞く事(ピアサポート)

## 意思決定支援

- ・私はあなたの味方です…家族との葛藤に付き合えるか
- ・もう一つ…失敗ではなくチャレンジと評価(何度もリベンジ)

施設職員(押し出す力)と相談支援専門員(受け止める力)が連携しないと…**力=情熱(理屈じゃなく、理不尽さに向き合えるか)**



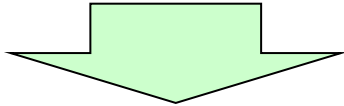
# 障害の重い…この言葉を言い訳に使っていないか？

「聴く」とは、言葉のやいといだけではない…はず  
障害の重さを理由に、知ることを避けないで  
どんなに重い障害のある人も、意思表示している  
気付けないのは支援者側の怠慢でしかないのでは

対応策…支援者の気付きのトレーニング(支援者癖を壊す)

…本人には、体験の場の用意(少人数生活の疑似体験)

地域生活の状況が分かり易く理解できるような工夫(ビデオ・GH等地域生活OBからの報告・見学会・講演会等)を繰り返す  
ことで理解は確実に深まる。(愛知県知多圏域・長野県でも実証済み)



彼らからのメッセージ…

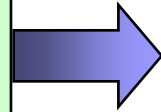
おだやかな・ゆったいとくつろいだ表情・行動は

…わたしの意思・わたしの言葉

…そのメッセージにあなたは気付けるか？

## 地域の中で暮らす…15年前のスライドがいまも生きる

施設入所は「親亡き後」を忖度するの？  
地域生活が困難な人を受け止める大義が役割としても、…  
結果として、死ななければ出られない子捨山伝説に、何時まで乗っかるの？



施設入所の職員は、

- ・ 利用しなければならなかった経緯を分析し
- ・ 地域が抱える課題・本人が抱える課題を整理し
- ・ 明確な利用目標（支援計画）を設定し
- ・ 再び地域に戻るための環境を整えて地域支援者に託す

そんな素晴らしい仕事を担う  
プライドを担っている  
…とエールを送りたい